

あらたきさん  
その3 宇部市最高峰の荒滝山ハイキング(山口県)

今回のご当地アウトドアは、山口県宇部市最高峰の荒滝山ハイキング。ほかにも、オスメ立ち寄り温泉スポットや、ご当地グルメ。そしてリニューアルオープンしたばかりの話題の動物園などなど、盛り沢山の内容です!



宇部市の  
ご当地キャラは  
チヨコクン

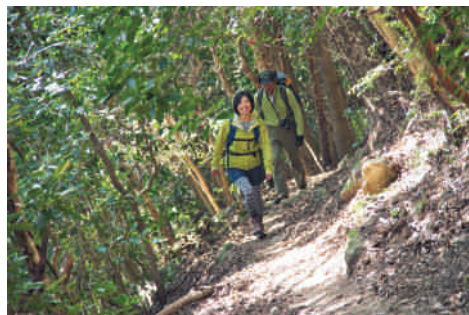


ご当地のマドンナが案内する最旬の外遊びガイド  
日本全県アウトドア巡り

奇岩くぐり&椎茸も発見!

見所満載の  
トレッキング

危険箇所もなく、よく整備されているので、ちびっ子からお年寄りまで気軽に楽しめる。途中で田村さんが飼育しているシイタケを収穫。写真下は、くぐり岩。ちょっとした山のアトラクションだ。



今日のマドンナ&案内人



初代ミス荒滝山(宇部市産業振興部)  
北山千春さん

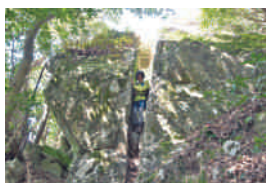


楠こもれびの郷代表取締役社長  
田村敦義さん

普段は宇部市役所の観光・6次産業推進課に所属。宇部市の魅力を様々な人に広めるべく奮闘中だ。今回の取材で荒滝山の魅力を再確認。田村さんの提案によって急きよ、初代・ミス荒滝山に任命されることに!

幼いころからこのあたりの野山を駆け巡っていた、荒滝山近辺の生き字引的存在。登山歴は50年という山の大ベテランで、若いころは全国様々な山に登りに行っていたという。現在は「楠こもれびの郷」の社長。

山口県宇部市最高峰の荒滝山は標高459mの穏やかな山だ。「山の口と書いて山口ですからね。このあたりはのんびりとした姿の山が多いんですよ」と、ガイド役の田村さんが教えてくれる。田村さんは荒滝山の登山道の整備もしていて、ここはまさに庭のような場所。ほかにも動物、植物、歴史など様々なことを教わりながら登っていく。そうして50分ほどで、眺望の良い山頂へ到着。「いつも住んでいる町でも、山頂から見ると新



温泉から地元の農産物まで！  
荒滝山登山後の  
立ち寄りスポット



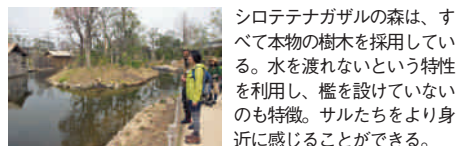
楠こもれびの郷  
〒宇部市西万倉1662-1 ☎0836(67)2617

「楠こもれびの郷」では天然温泉が楽しめるほか、農産物直売所や、土地の食材を使ったレストラン、パン屋さん、土産家を改装したカフェなど様々な施設が集まっている。



居心地の良い山頂からは  
宇部の豊かな里山が一望できる

荒滝山山頂は開けていて居心地バツグン。桜の木も生えていたので、ここで花見&昼寝はさぞかし気持ち良いだろうなあ。荒滝山登山口からちょっと下った所には、荒滝の滝という神秘的な場所も。



シロテテナガザルの森は、すべて本物の樹木を採用している。水を渡れないという特性を利用し、檻を設けていないのも特徴。サルたちをより身近に感じることができる。

アジアの森林ゾーンには、現在5種類のサルとコツメカワウソアが拡張される予定とのこと。



サルたちがのびのび暮らす  
生息地を再現した  
ユニークな動物園  
ときわ動物園 (宇部市則貞3,4,1  
☎0836(21)3541)



「体験学習館モンスター」では、動物や環境について、自分の体を使いながら、様々なことを学ぶことができる。

黒いカレーにコッテリ系ラーメン  
宇部市が誇るご当地グルメたち！

「石炭黒カレー(右上)」は黒ゴマとイカスミで真っ黒に。氷の上に紫芋(フィリピン語でUBE)のゼラート&フルーツを盛った「台湾かき氷(右下)」。紫芋のアイスとソース掛けパンケーキ(左下)。

ヘルシーレストラン ピアニンシモ  
〒宇部市朝日町8-1  
☎0836(21)0141



一久 新川店  
〒宇部市松島町18-6  
☎0836(31)1915

中太のやわらかめの麺に、濃厚な豚骨スープが絡みつく絶品ラーメン。強い豚骨臭で、まさに「くさうま」なクセになるお味。



右は石炭で発展した宇部をイメージして作られた「石炭包」。シーフードカレー味。左は山口宇部牛を100%使用した「まるごと宇部元気バーガー」。



屋外展示され、四季を通じて様々な花を楽しむこともできる。個人的にハマったのが宇部ラーメン。こつてり系好きにはたまらない！ 帰り際にもう一軒立ち寄ってトレッキングで消費したカロリーをガッツリ取り戻してしまった、ココロもカラダも大満足な宇部の旅なのだった。

「鮮ですな」とミス荒滝山(田村さん)によって急きよ任命の千春さんも満足そう。田村さんによれば天気の良い日には海まで見渡せるという。  
下山後の温泉はやっぱり欠かせないということで「楠こもれびの郷」に立ち寄り。その後、宇部新川の町で真っ黒なカレーと宇部ラーメンをハシゴしてからもうひとつの目的地、ときわ公園へ。動物園がこの春リニューアルしたばかりで、野生動物の生息環境を園内に再現。「まるで本当に東南アジアの森に来たみたいですよ」という千春さんの言葉どおり、サルたちもとても居心地よさそうだ。ときわ公園には、様々な彫刻作品が



## ストロータイプで飲みやすい ハイキング向きのストローボトル

↑飲み口にストローを採用したモデル。片手でワンタッチオープンできるので、ハイキングの際などにもピッタリのアイテムだ。真空断熱ストローボトル／FFI-500 500ml オープン価格(右)。FFI-401 360ml オープン価格(左2つ)。



ハイキング&屋外ランチ  
旅で役に立つサーモス製品!

荒滝山ハイキングでは、ストローボトルが大活躍。気持ちの良い広々とした芝生がある、ときわ公園ではピクニックランチも楽しんだ。ここでは、そんなアウトドアなシーンで役に立つ、サーモス製品をピックアップしてご紹介したい。



スープやサラダなどの  
持ち運びに便利なフードコンテナー

↑温かいスープを保温してくれるコンテナー(右)と、おかずの汁などが漏れないフードコンテナー(左)真空断熱フードコンテナー／JBJ-301 300ml 4000円。フレッシュフードコンテナー／DJI-501 545ml 3000円。

上の2つの商品は、フレッシュフードコンテナーに付属する、保冷機能が付いた専用バッグと一緒に収納することが可能。

